

ただの欲望？ふざけるな。

板橋 亮

嫉妬。

---

ああ、綺麗になりたい。。あの子よりもこの子よりも。

結衣はボソッと呟く、毎晩毎晩。

今月はお店でナンバー入りしたし後3人に勝てばナンバー1よ、頼むからエリカとか死んでくれないかな。死ななくてもいいから、んんー、交通事故で顔ぐちゃぐちゃとかさ。私の顔がもっと可愛かったらエリカにも勝てるのに新作のバックも買ったし、このネックレスも買ったのに。

結衣はそう呟きながらブランド物のネックレスを撫でる。そんな時ふと思い出した。帰り道に駄菓子屋みたいな古い店ができていたことを。その店には真新しい宣伝用の旗があり、そこには「夢叶えます」の文字があった。

夢が叶うってアホらし。私を店のナンバー1にしてくれるの？エリカが交通事故にでもあってくれるの？そんな昔に見た漫画じゃないんだからいい加減にしてよね。そんな事を一人頭の中で怒っているうちに笑みがこぼれてきた。

「いらっしやいませ！」店の黒服と共にお客さんの群れが入店する20:00

高そうなスーツに身を寄せてる2人組みとガテン系の四人組がキャバ嬢を待ってる様子だ。女の子達が聞こえないように叫ぶ「絶対四人組のところは地獄！」「金無いのに頑張ってる感やばっ」など様々な意見が飛び交う。待機室とはこんなものだ。

結衣は当然の事のように思う。あなた達ヘルプはこうゆう客でもアフターして持ち客にしていかなきゃ上にはいけないの！私みたいな女はスーツが似合うの。

「結衣さん、3番テーブルお願いします！」黒服が私を呼んだ。一番最初の女の子は店の顔だから当たり前前っと思いながら向かったテーブルにはまさかのガテン系の四人組だった。

なんで私が？と腹を立て、帰ろうか考えた時に隣の客が言った、「あっちの方がええなあ、、」結衣からしたら聞き捨てならなかった。とっさに誰！？って言いそうになってしまったが言わなかった。

そう、もう分かっている。それはスーツ二人組みについてのエリカだって事を。

ただの欲望？ふざけるな。

<http://p.booklog.jp/book/106873>

著者：板橋 亮

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/behermurto3387/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/106873>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/106873>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ